

けいせん

議会だより

第28号

委員会視察（1月10日）

総務経済建設委員会

【桂川駅整備事業視察】

桂川駅は、昨年9月に仮駅舎に移り、12月には旧駅舎が撤去されました。

現在、自由通路の基礎杭工事と線路の南側にある水路の改良工事が行われており、今後、令和3年3月の



完成に向け、自由通路・駅舎・南側駅前広場等の工事が精力的に進められていきます。

完成後は、通勤通学の利便性の向上が期待できます。

総務経済建設委員長

下川 康弘

文教厚生委員会

【図書館視察】

「教育環境整備」をテーマに関連施設の視察を行いました。

土師保育所・吉隈保育所・桂川小学校の建て替えが必要であるとの認識を深めています。



また、3カ所に分かれている学童保育所も課題です。

現在は、保育・学校関連施設の視察を終え、図書館・ひまわりの里など、社会教育関連施設の視察を行っています。

文教厚生委員長

柴田 正彦

一般質問

(12月定例会)



大塚和佳議員

「まち、ひと、しごと創生総合戦略／人口ビジョン」について

問 総合戦略と第6次総合計画の調整を図るときは、特に「未来を担う子どもたちの教育環境や保育環境」に目を向けた計画を策定してほしい。

答 (井上町長) 第1期を検証し、第2期総合戦略を立てる。

保育所の新築や幼保連携型認定子ども園の設置について

問 今後、保育所施設の新築は。

答 (町長) 国の方針を踏まえて考慮すると、町が保育所を新築することは困難である。

幼保連携型認定子ども園をつくると想定して、幼稚園を学童保育所として使えないか。

問 幼保連携型認定子ども園をつくると想定して、幼稚園を学童保育所として使えないか。

答 (町長) 意見として聞いておく。

教育現場の人材確保について

①スクールソーシャルワーカーについて

問 勤務内容等は。

答 (北原学校教育課長) 桂川中学校を拠点校として週1日の8時間勤務。

問 不登校等の子どもたちの状況は。

答 (学校教育課長) この5年間で、多いときは30人を超えた年もある。

問 教育委員会としての問題点は。

答 (大庭教育長) 人材不足で、他市町の教育委員会との兼任となっているので、派遣日数を増やすことは難しい状況である。

問 さらに充実することは。

答 (町長) 今後も、関係機関のネットワークを活用し支援を行う。

問 予算措置は。

答 (町長) 今後必要であり、教育委員会と協議していく。

②ICT(情報通信技術)の活用と人材確保。

問 現在の状況は。

答 (学校教育課長) 常勤の臨時専門職員が1名在籍。

問 授業内容がわかるパソコン指導者が必要だが、来年度以降の取り組みと予算措置は。

答 (町長) 教育委員会と協議を行い、教職員のICT活用指導力の向上に努めたい。

また、予算措置については、必要であり積極的に考えていく。

トライアルの進出について

問 今後の買い物・通院バスと福祉バスの運行状況等は。

答 (江藤健康福祉課長) 福祉バス等の乗り入れは、オープン当初の混雑が予測されるため、4月1日より開始。

また、既存のバス停留所86カ所の改修費用も計上している。

問 店舗内に地元農産物販売コーナーの設置は。

答 (町長) 設置することで、協議が整っている。



吉川紀代子議員

指定避難所の環境改善について

問 本町の学校体育館にエアコンが設置されていないが、設置する計画はあるのか。

答 (山邊総務課長) 平成28年7

月に(株)アクティオと「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結しているので活用するつもりだ。

問 埼玉県朝霞市^{あせか}では、総務省の「緊急防災・減災事業債」制度を利用し、体育館にエアコンを設置している。本町でもこの制度を利用し、体育館にエアコンを設置することを要求する。

公営住宅の連帯保証人廃止について

問 福岡県は新年度入居者から県営住宅入居者の要件である連帯保証人廃止を発表した。桂川町営住宅でも検討すべきではないか。

答 (小金丸建設事業課長) 本町でも検討を進める。

問 生活困窮者への家賃減免を検討すべきではないか。また、既存の町営住宅の老朽化対策、若年層への入居促進についてはどうか。

答 (建設事業課長) 収入が著しく低下した場合など、家賃の減免または徴収猶予措置ができるようにしている。

既存の町営住宅において継続して使用する建物は適宜修繕を行う。

若年層への入居斡旋に関する具体的な取り組みはしていないが、二反田団地の建て替えが進むと若者の入居が増えることを期待する。

子育て環境の充実について

問 窓口負担を廃止して、子ども医療費の完全無償化を進めるべきではないか。

答 (井上町長) 福岡県は令和3年度から子ども医療費補助を中学生まで拡充する方針を示しているので、積極的に検討する。

公立病院の統廃合計画について

問 公立病院統廃合計画についての協議はあったのか。

答 (町長) 10月、福岡市におい

て自治体・医療機関・厚労省との意見交換会が実施され、今後、各地域で継続して議論すること支援するとの見解が述べられた。

地域医療拠点である公的な総合病院は必要不可欠であるとの立場から、国の動向を注視し地域医療の充実・維持に努めていきたい。



柴田正彦議員

教育関連施設の将来像について

問 町長は9月議会で、保育所の民営化について発言された。保育所の民営化を行うのか。

答 (井上町長) 現実の問題としては、国の方針を踏まえると、今後検討しなければならぬ。

まずは民営化をする際の手続き上の問題、国・県との関係についても充分勉強する必要がある。

将来的な方向としては民営化を考えていかなければならない。

問 幼稚園の民営化はどう考えているのか。

答 (町長) 10月から「幼児教育の無償化」が実施されていて、この影響は大きいものがある。

状況を見ながら考えていく必要はあるが、当面、民営化は考えていない。

問 議員研修で視察した^{たてやま}館山市は、桂川町と同じく幼稚園の入園希望者減・保育所の老朽化・財政難の課題を抱えていた。民間に保育所開設を働きかけたが、引き受け手がなく、市で幼稚園と保育所を一体化した子ども園をつくり運営した。今は、この一体化に支持が多い。

5月1日現在、桂川町の保育所の入所率は102%で、桂川幼稚園の入園率は43%、半分以上である。

保護者へのアンケート(7月実施)では、「幼児教育・保育の無償化」が実施された場合の利用希望先は、保育所が増、幼稚園は微減。

介護予防について

こつこつ介護者の希望を大切に、予算がない中、この町の保育・教育行政をどうしていくのか考えねばならない。保育所・幼稚園を民営化していくのか、二つの町立保育所は一つにするのか、保育所と幼稚園を一体化させるのか。

さらに、小学校・中学校・学童保育所についても、どのようにすべきか、いくつかの案を用意しておいて、タイミングがきたときに対応できるようにしておくべきである。

早急に町の保育・教育行政をどうするのか、知恵を集め検討していく必要がある。

答（町長） まさにご指摘の通り。町の将来のためにも必ずしなければならぬ。

（字数制限のために、他の質問については掲載できなかった。）



杉村明彦議員

問 数年後には団塊の世代が高齢者となる。本町の60〜70歳の人口の割合はどのくらいか。

答（江藤健康福祉課長） 11月30日現在、人口13,383人のうち4,196人（31・35%）。

問 どのような予防事業を行っているのか。

答（健康福祉課長） 地域公民館や総合福祉センターにおいて、「転倒予防教室」・「口腔教室」・「シニアエクササイズ」・「認知症サポーター養成講座」・「脳若教室」等の各種教室を開催している。

また、「いいバイ桂川の多目的ホール」を利用して、毎月2回（第1、3木曜日）高齢者向けのサロン「ひまわりカフェ」を開催している。
今年12月1日に「ライザップ健康セミナー」も実施した。

問 その成果は出ているのか。

答（健康福祉課長） 平成30年度実績と比較し、実施教室数及び参加人数はほぼ同じ状況だ。事業効果・成果については現在検証中であり、その結果を来年度の新規事業に反映させたい。

問 安全にウォーキングできる歩道を県に要望しているのか。

答（井上町長） 要望は毎年行っている。安心・安全な歩道は高齢者社会にはかせない課題だと認識している。

水防計画について

問 各避難所に毛布や飲料水などの備蓄はあるのか。

答（山邊総務課長） 毛布は避難所ごとには配備していないが、7つの自主防災区に各20枚と役場の防災倉庫に70枚、町内に合計210枚の毛布を備蓄している。飲料水と非常食については、住民センター・総合福祉センター・総合体育館それぞれに、約430人分を備蓄している。

問 災害発生後の計画はしているのか。

答（横山保険環境課長） 現在、計画策定を進めているので、時間をいただきたい。



竹本慶吉議員

桂川駅舎建設について

問 桂川駅舎の計画は自由通路の建設計画に伴い発生したものである。今後の桂川町の発展に必要であると思うがどうか。

答（井上町長） 自由通路の建設をはじめ、桂川駅及びその周辺の整備は、本町にとって30年来の課題であると認識している。
JR桂川駅は、筑豊地区の玄関口としての役割を期待される中で、今回の取り組みは本町にとつて是非とも完成させねばならない事業であると考えている。
また現在、福岡県の事業で取

駅表側からの予想図



り組まれている県道豆田稻築線の工事区間が延長され、本町を東西に結ぶ基幹道路が完成すれば、移住・定住の環境づくりにも大きな効果を期待できると思う。

今後、福岡都市圏域との人口交流の拡大を図り、桂川町の将来の振興・発展・活性化につなげていきたい。

豪雨災害復旧について

問 計画的な予算措置を行い、予想される地区の定期的な点検を行うてはどうか。

答 (大屋産業振興課長) 災害復旧工事については災害の状況や規模によって経費が大きく変わる。このため災害発生を想定しての予算計上は難しい。緊急時には、予備費の流用や専決により対応していく。

問 夏場の渇水対策において、ため池の活用はどうか。

答 (産業振興課長) ため池の有効活用は必要である。

土師四区地域の夜間振動被害について

問 土師四区住民より県道沿いの被害や苦情が寄せられている。対策として、大型車の交通規制等を考えてはどうか。

答 (小金丸建設事業課長) 八

丁トンネルの開通により大型車交通の流れが変わる可能性もあり、様子をみる。

国民健康保険税の見直しについて

問 本町の国保運営が赤字でない時に、近隣の町の課税状況を参考に資産割の廃止を検討しては。

答 (横山保険環境課長) 本町では資産割を含む四方式だ。国保広域化の制度定着後に検討していきたい。

○12月定例会の様子は桂川町HP『議会』で、ご覧になれます。

○3月定例会予定
3月3日～3月17日
(一般質問は3月9日)

つぶやき

新年の幕開けを待っていたかのように、恒例の祝賀行事が始まりました。

1月12日午前には、福岡県消防学校(嘉麻市)において飯塚市・嘉麻市・桂川町の消防連合出初め式が行われました。

これは、近年の気候変動による自然災害を始めとする、あらゆる災害から地域住民の安全・安心を守るために、昼夜を問わず消防関係者の活動や日頃の訓練等の成果を披露し、同時に消防団の士気高揚を図るものです。もっと広報活動を活発に行い、多くの地域住民に披露してはどうかと思っています。

また、同日の午後には、新しく大人の仲間入りをされた新成人のための「成人式」が開催されました。

最近は荒れる事もなく、むしろ落ち着いた式になっています。久方振りに会う同級生との会話風景は、あちらこちらで花が咲いたようでした。来年もなごやかな「成人式」になるよう願うものです。

竹本慶吉



12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第5号	桂川町教育委員会委員の任命について	【同意】賛成多数
議案第33号	桂川町消防団員の定員、任用、分限、懲戒及び服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第34号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第35号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第36号	桂川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第37号	桂川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第38号	桂川町同和問題の早期解決に関する条例の全部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第39号	令和元年度桂川町一般会計補正予算（第3号）について	【可決】賛成多数
議案第40号	令和元年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	【可決】全員賛成
議案第41号	令和元年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	【可決】全員賛成
議案第42号	令和元年度桂川町水道事業会計補正予算（第3号）について	【可決】全員賛成

【追加議案】

発議第1号	議案第39号令和元年度桂川町一般会計補正予算（第3号）に対する附帯決議（案）について	【可決】賛成多数
発議第2号	天皇陛下の御即位を祝す賀詞決議（案）について	【可決】賛成多数
意見書第3号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書（案）について	【可決】全員賛成